



赤松林太郎徹底講座シリーズ

「四期」の知つておくべきこと ～作曲家とその時代の音楽的語法～

大好評の赤松林太郎先生の「四期」の知つておくべきことシリーズ。第3回はロマン、第4回は近現代。その作曲家にあつたアプローチについてお話しします。時代によつて音楽はどうのように変化し、私たちはその変化をどのように表現すればよいか。演奏と指導のポイントについて、赤松先生がわかりやすく解説されます。脈々と受け継がれる素晴らしい作品と一緒に紐解いていきましょう。



講師

**林太郎 先生
赤松**

1978年生まれ。2歳よりピアノを始め、5歳の時に小曾根栄氏や故・芥川也寸志氏の進行でテレビ出演。10歳の時には自作カンツァードモードのフルコンクールで優勝。1990年全日本学生音楽コンクールで優勝をねねる。1993年仙台市教育委員会主催の平成元年度の教育功効者に井草義久、赤松後、ハリエコール・ノルマル音楽院にてアノ・室内楽と共に高等演奏課程で17歳で芦原香織と一段階得賞。室内樂は全音楽員選考による。17歳で熊谷洋子、ミハイル・オズミードセン・スキー、フランク・クリグ、シャン・ミコー、バタリ・チエン・クリス・ヘル、ソリターン・コチ・ユ、室内樂を岡田恵生の各氏と共に。2000年にクラシック・ディ・音楽学を阿賀野洋子と共に。2006年にアーティストとして第3位を受賞した「ピアノ・コンクール」で第3位を受賞した。国内外での主要演奏会などにより、アメリカ、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、オーストリア、ハンガリー、ポーランド、台湾、コロニアなどへ公演で回る。2016年よりヘーカーのダスピア・ラレンツ国際音楽コンクールの審査員を務める。2017年にダナウ音楽祭とオーストリアの音楽祭に招待される。これまで新田洋一、手塚幸記、堤信次、西本聖美、山下一史、アーティスト・アンド・ラーシュの指揮のもと、東京交響楽団やロイヤル・ホール（オーストリア）、ロイヤル・カナル・オーケストラ、マーチング・バンド、オーボエ・アンサンブルなどと公演。NHK交響楽団や東京フィルハーモニー交響楽団などと演奏。2011年にキン・イ・タ・ナ・ショナル・オーケストラ（中国）に招かれて演奏。2012年に「ピアノ・コンクール」（You Tube）に残してある。2013年にレコード藝術特集（ヒット・ナ・ショナル）から（ふたりのアーティスト）として赤松林太郎、虹のようひこに登場。多くの賞を受賞。国内外の主要なコンクールで多くの受賞者を輩出している。PTNA会員登録、賞金、賞状、賞状用紙などを提出して各会場で発表させてもらう。2016年6月、美しいチモル（モロッコ）にて演奏活動を行っており、新刊として赤松林太郎、虹のようひこを出版・発行。現在、全日本ピアノコンクール審査員、音楽研究委員。アーティスト国際ピアノスタークラブ（国際リス・音楽大学客員教授。http://rintaro.jp/）

【第3回】 2018年5月21日(月) 10:30-12:30 ロマン	【第4回】 2018年9月10日(月) 10:30-12:30 近現代
--	--

会 場：ヤマハミュージックスクエア 高崎サロン

受講料：

事前支払	当日支払 ※全て税込
ピティナ会員 3,500円	4,000円
MTC 会員 3,500円	4,000円
一般 4,000円	4,500円

※キャンセルの場合の返金は、実施諸手続きの関係上お受けいたしかねますのでご了承願います。

下記の申込書にご記入のうえ、お電話またはFAXにてお申込みください。ピティナHPからのお申込み(事前振込のみ)も可能です。

<http://www.piano.or.jp/seminar/list/>

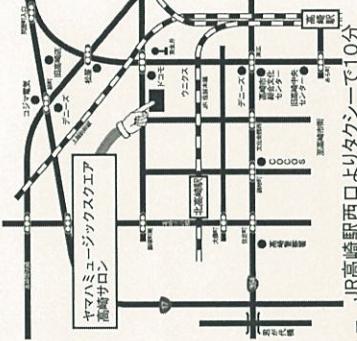
【主催・お申込み・お問合せ先】

ピティナ高崎支部

〒370-0069 群馬県高崎市飯塚町413-1

ヤマハミュージッククリエーリング高崎店

TEL:027-361-3777 FAX:027-364-0235



氏名	ふりがな	□ピティナ会員
住所	〒	□MTC会員
TEL&FAX	()	□一般
		e-mail
◆ 2018年5月21日(月)、9月10日(月) 赤松林太郎先生 講座申込書 ◆		

※お客様が本書面に記載された個人情報は、法令で定める場合のほか、お客様の承諾なしに他の目的には使用いたしません。